

V 地域資源・都市基盤を活かすまち

恵庭は、恵庭岳や漁川などに代表される自然豊かな地域であり、良好な住環境にあります。また、恵庭地区・恵み野地区・島松地区のそれぞれ特徴あるまちが一つになっており、今後もこの恵庭の魅力を持続していくことが重要です。

一方、これまで整備した都市基盤は老朽化し、その更新費用は財政を圧迫することが想定されますが、高齢化の進展により、生活利便機能を維持するため、地域の足の確保も必要不可欠です。

長期的な人口減少により市街地の空地や空家住宅が増加することが想定されるなど、急速な高齢化社会への対応が必要であり、今後は地域が主体となり地域のあり方を検討する必要があります。

特に、道路、上下水道、市営住宅などの維持管理

及び再整備に係る費用やバリアフリー化、除排雪等に要する費用が増加しており、また、市内公共交通ネットワークについても市民ニーズに応えると同時に効率的な運行形態が求められていることから、十分な検討が必要です。

また、自然環境を活かしたまちづくりには、緑地・景観等を維持保全する取組みや、ごみの減量化・リサイクル、地球温暖化防止、公害対策、エネルギー対策等、環境保全への取組みが重要です。

恵庭の魅力的な自然環境・住環境を次世代へつなげていくためにも、生活のあり方を見直し、環境への意識を高めると共に適正な住環境整備を図り、希望と活力に満ちたまちをつくっていきます。

18 地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり

地域の特色を活かした市街地整備と、安全安心な都市機能の整備を推進します。

19 水と緑豊かな生活空間づくり

恵庭の恵まれた自然環境、水資源、景観を活かした生活環境整備と適正な維持管理を推進します。

20 安全で円滑な地域交通

少子高齢化・人口減少社会に対応した、利便性の高い道路整備、公共交通ネットワークの推進を図っていきます。

21 安定した水供給と持続的な下水処理

人口減少社会を見据え、事業の効率化を図りつつ、給排水の安定・向上をめざした施設整備を推進します。

22 住み続けたいまちづくり 住まいづくり

安全安心な住まい・魅力ある住環境の形成を図っていきます。

23 ごみの減量と適正な処理

市民・事業者・行政の役割分担と協働により、ごみの減量化・リサイクル、適正な施設整備を進め、持続可能な循環型社会を形成します。

24 次世代へつなげる環境

市民・事業者・行政が一体となった、より良い環境を次世代に確実に引き継ぐ循環型社会の構築を図っていきます。

将来都市像

少子高齢化・人口減少からくるマイナスのイメージ・影響をのりこえ、活力ある将来都市恵庭を目指す。(将来都市像に込めた思い)

